

「ほっと安心」して、笑顔で迎えられるように

どうして早期発見が大事なの？

*長い時間道に迷っていると体力が消耗し衰弱したり、熱中症などによる脱水、転倒による骨折、交通事故等で命にかかわる危険があります。

*行方不明になってから時間が経つほど行動範囲は広がり、発見が困難となるため、早期に発見、保護することが重要です。

認知症は年齢を重ねれば多くの人がなる病気です。

衣服、靴、お守り、ペンダントなど本人がいつも身につけているものに名前や連絡先を書いておくと安心です。

行方不明の人をまちぐるみで見守り声掛けする取り組みを進めています。

できれば、日頃から、近所の方に声をかけておくことも大切です。



事業の内容や介護に関するお問い合わせは

- 鶴岡市 健康福祉部 地域包括ケア推進課 電話29-4180(直通)
- 各地域庁舎市民福祉課：藤島 64-5810 羽黒 26-8774 櫛引 57-2116 朝日 53-2115 温海 43-4613
- 鶴岡市各地域包括支援センター

お住まいの地域	担当の地域包括支援センター	電話番号 (0235)	住所
第一学区 第四学区	健楽園地域包括支援センター	25-0888	陽光町9-20
第二学区 齋・黄金	地域包括支援センターなえづ	26-9260	ほなみ町3-1
第三学区 湯田川・田川	地域包括支援センターつくし	29-1256	馬場町1-34
第五学区 京田・栄	永寿荘地域包括支援センター	29-2900	宝田二丁目7-29
第六学区 大泉・上郷 三瀬・由良 小堅	地域包括支援センターかたりあい	29-1626	西新齋町14-26 <small>* 豊浦相談窓口：とよら居宅介護支援センター内(三瀬字菖蒲田67-1)</small>
大山・加茂 湯野浜・西郷	鶴岡西地域包括支援センター	35-0300	馬町字枇杷川原23 <small>* 湯野浜相談窓口：しおん荘居宅介護支援事業所内(湯野浜一丁目19-28)</small>
藤島	地域包括支援センターふじしま	78-2370	藤の花一丁目18-1
羽黒	地域包括支援センターはぐろ	64-8281	羽黒町荒川字前田元89 (羽黒庁舎1階)
櫛引	地域包括支援センターくしびき	57-5003	三千刈字藤掛1
朝日	地域包括支援センターあさひ	58-1068	下名川字落合1 (朝日庁舎2階)
温海	地域包括支援センターあつみ	43-3010	温海戊577-1 (温海庁舎2階)

(令和6年4月1日 現在)

SOS見守りネットワーク 「ほっと安心」つるおか

どんな制度？

認知症等で行方不明になった時、あらかじめその心配のある高齢者等の検索に必要な情報を登録しておく事で、**早期発見・早期保護**につなげる制度です

どんな人が利用できるの？

認知症等により、行方不明の心配のある方です

利用・登録したいときはどうするの？

①登録の申請

登録を希望される方は

お住まいの地域包括支援センターもしくは担当ケアマネジャー
鶴岡市地域包括ケア推進課
各地域庁舎市民福祉課（藤島、羽黒、櫛引、朝日、温海）まで
ご連絡ください（連絡先は裏面参照）

②地域包括支援センターによる訪問

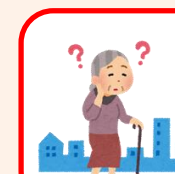
地域包括支援センター職員がご自宅に伺い、登録情報の作成
(聞き取りと写真撮影)を行います

③登録された方について

登録情報は警察に提出します
年1回程度、担当の地域包括支援センター職員等がご本人の状況を確認し
登録情報を更新します

行方がわからなくなったらどうするの？

①行方不明者の届け出



ためらわず 早めに110番へ！

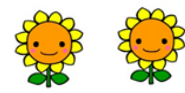
登録情報をもとに、ただちに捜索いたします



②無事が確認できたとき

ご本人が自力で帰宅したり、ご家族や関係者が発見した場合はすみやかに
鶴岡警察署(28-0110)へ連絡してください

鶴岡市



みんなの見守り・支え合いで地域を守りましょう



ひとり暮らしや、高齢者のみの世帯がますます多くなってきました。

ご家族と同居されていても、昼間はおひとりで過ごされている方もいらっしゃいます。私達が暮らし続ける私達のまちの「地域包括ケアシステム」を上手く活用するには、ご近所の底力が重要です。

みなでお互い様の気持ちで見守り支え合い、声をかけ合い、より安心で暮らしやすいまちにしていきたいと思います。

調整役

**ご相談やお困りごとは
地域包括支援センターへ！**
相談や介護等サービスの
支援を行います。



認知症に優しいまち鶴岡

季節に合わない服装をしている、履いている靴がちぐはぐ、心細そうにしているなど、もしかして認知症？かな……と思った時に声をかけてみましょう。



♥声かけのポイント

- ゆっくり近づいて、相手の視野に入ってから
- 声かけは「こんにちは」など、ごく普通にあいさつから
- 「私はすぐそこの〇〇ですが、どこへ行かれますか？」
「何かお困りですか？」と、やさしく声かける
- わかりやすい簡潔な言葉で、反応をみながら一つずつ話しかける
- 笑顔で相手のペースに合わせてながら接する
- 声かけても、上手く行かない場合は、いったん離れて、間をおき、近所の人から協力を得る
認知症により行先がわからなくなった時は110番しましょう。

みまもり



積極的な声掛けと
気配りが大切

ささえあい



地域活動の参加が
絆を作ります

認知症を正しく知ろう

本やテレビなどで認知症について取り上げられることが多くなってきました。認知症を正しく知るには、実際に認知症の人を気づかい、つながり合う事が大切です。
認知症を知る事は自分自身の認知症予防にもつながります。その第一歩として地域でのつながりを深めていきましょう。



認知症サポーターになりませんか？

認知症サポーターとは、身近にいる認知症の人や家族を温かく見守り支援する応援者。養成講座を受講すれば、誰でも認知症サポーターになれます。講座修了者には、「認知症サポーターカード(修了証)」が渡されます。受講申し込みお問い合わせは、各担当の地域包括支援センターまでお気軽にどうぞ。

